

# 内科医 つれづれ草

高山浩一

⑬

私の日常業務の一つに病棟回診があります。「白い巨塔」をはじめとする医療ドラマで、教授回診の場面は、かなり権威主義的に描かれています。実際はかなり異なります。

## 病棟回診

回診の目的は入院患者さんの病状を実際に診察して診断や治療方針を確認することです。もう一つ大事な目的として実習に参加している学生や研修医の教育があります。

## 患者は医師を映す鏡

診での発表は研修医のトレーニングにもなっています。もちろん発表がまずくても、上級医が付いていますから、患者さんの



イラスト・山本重也

診療には何ら支障はありません。病状の説明を聞き終えたら病室に入り、看護師長さんに手伝ってもらいながら患者さんを診察します。診察の手順は決まっております。私の場合は脈拍を確認し、指先、爪の色、手のひらなど順番に診ていきます。異常があれば、患者さんの了解を得て学生にも診させていただきます。

入院して来られたばかりなら、そういうこともあるでしょうが、1週間も入院している患者さんの場合は、担当医の診療態度を少々疑ってしまいます。担当医がどのような診察をしているのか、私がそばで見るとはありませんが、回診の時の患者さんの態度を見ると、担当医が日頃どのように患者さんに接しているか、手に取るように分かることがあります。子は親の鏡と言いますが、患者さんは医師を映す鏡でもあると思います。(京都府立医科大学教授)